

部長会議 報告書

令和2年1月7日(火)

3階第2会議室 9:15~10:00

1. 議題・課題等提案

(1) 都市整備部

⇒ 資料にもとづいて説明（都市整備部長）

I. 桑名市都市計画マスタープランの改定について

- ・今後のまちづくり協議会との連携について、スケジュール感はどうか。（平野副市長）

⇒今後のまちづくり協議会の設立状況にもよるが、おおよそ5年間くらいを目途に考えている。状況に応じて地域コミュニティ局と連携していく。（都市整備部長）

- ・まちづくり協議会が作る基本計画と都市計画マスタープランの地域別整備構想はどのように整合を図るのか。（総務部長）

⇒地域別整備構想は中学校区レベルで作成する想定であり、まちづくり協議会が対象とする小学校区レベルとは差異がある。まちづくり協議会に、地区別整備構想を担っていただくということではなく、都市再生特別措置法に基づく法人として、行政との連携により、まちづくりに参加していただくイメージである。（都市整備部長）

⇒インセンティブがないと、取り組んでもらうことが難しいのではないかと。また、リーダーとなる人も必要であるので、まちづくり協議会が動き出してから、その中で検討してもらうのがよいのではないかと。（市長）

⇒インセンティブとしては、都市再生推進法人として指定を受ければ、公的位置づけが付与され国等による支援など補助を受けることができる。（都市整備部長）

- ・地域別整備構想の策定は必須なのか？（市長）

⇒地域別整備構想を策定することは都市計画運用指針では望ましいとされており、より地域住民主体のまちづくりが可能になるということであり必須ではない。（都市整備部長）

- ・立地適正化計画の居住誘導区域の中に浸水区域が存在するケースがあるが、そこを区域から外すことはできない。浸水対策にも限界があり、防災の視点では、避難行動をとることが大事であるという意識改革が必要である。（防災・危機管理担当理事）

- ・未利用地域の活用や空き家の問題から、市街化区域の拡大はコンパクトシティと逆行しているとの批判を受ける可能性もあるが、桑名市は住居に対する需要があるという点で状況が違うことを上手く説明していく必要がある。（市長）

II. 桑名市国土強靱化地域計画の策定について

- ・計画策定により補助の採択が受けられ、有利な財源となるので、各所管課で連携を図ってほ

しい。(平野副市長)

⇒連携が図れるよう庁内ワーキングで詰めていきたい。(都市整備部長)

- ・現在、医師会でBCP（業務継続計画）の策定を進めているので、医療体制の災害時対応については、内容の整合を図っていただきたい。(総合医療センター理事)

⇒専門的な視点も入れて、計画の内容を成熟させていきたい。(都市整備部長)

2. その他

(1) 職員向けのマイナンバーカードの申請補助について

国の方針において、令和4年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを想定し、地方公務員等については、今年度中の一斉取得を促進することとされており、三重県市町村職員共済組合より共済組合員に向けて交付申請書が配布される予定となっている。戸籍・住民登録課では、今回、職員に対して申請補助を行うので、職員の皆さんに利用していただきたい。(市民環境部長)

(2) 犯罪被害者等支援に係る研修会について

H31年4月に三重県犯罪被害者等支援条例が施行され、本市においても部門横断的な対応が不可欠であり、昨年も研修会を開催している。本年は、令和2年2月6日(木)に職員研修会を開催するので、各部局からご出席をいただきたい。(市民環境部長)

(3) 「地域が描くまちづくりセミナー」の開催について

令和2年2月22日(土)午後2時から、大山田コミュニティプラザで「地域が描くまちづくりセミナー」を開催する。可能な限り職員の皆さんもご出席いただきたい。(地域コミュニティ局長)

※セミナー詳細はチラシのとおり

(4) 多度地区小中一貫校多機能複合化事業について

基本コンセプト、今後の桑名市学校再編における多度地区小中一貫校の位置づけ、令和元年度及び令和7年度の児童・生徒数について、資料にもとづいて説明。(教育長)

(5) 広報くわな総集編について

特集記事「本物力の一步先へ」の総集編を、1月8日から1冊500円で販売するので、周知させていただく。(統括監)

(6) 令和2年桑名市消防出初式について

本年の出初式を、1月12日(日)、輪中ドームで行うので、周知させていただく。(消防長)